



石川フォーラム 報告

医療者、患者、県民が一丸となって安全な医療の実現を確認

石川県医師会会長 小森 貴

平成22年10月3日、石川県医師会館で「医療安全全国共同行動 石川フォーラム」を開催した。石川県医師会と石川県歯科医師会、石川県薬剤師会、石川県看護協会など20の医療関係団体、患者団体、婦人団体等で構成する石川県医療推進協議会が主催となり、150人が参加し大変有意義なものとなった。

フォーラムは小森石川県医師会長の挨拶で始まり、金沢医科大学病院中央臨床検査部副技師長の山崎美智子先生が「医療安全全国共同行動のめざすもの」と題して基調講演を行った。

なお、基調講演の講師については、当初は自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座主任教授の瀬尾憲正先生を予定していたが、当日の朝、新潟地方に発生した地震のためJRがストップし来県ができなくなり、急遽、山崎先生に講師をお願いしたものである。



山崎美智子先生

その後、県内で医療安全全国共同行動に参加登録をしている病院のうち、2つの病院から医療安全に係るそれぞれの具体的な取り組みについての発表が行われた。

まず、恵寿総合病院副院長の宮森弘年先生から「患者・市民の医療参加を目指して」と題して、危険薬の誤

投与防止対策や危険手技の安全な実施等に対する取り組みについての紹介があり、引き続き、芳珠記念病院医療安全管理者の村本恵美子先生から「経鼻栄養チューブの挿入と管理」と題して事例紹介が行われた。

石川県医師会では、今後とも「医療安全全国共同行動」の地域推進拠点としてこうした活動を積極的に行うとともに、石川県医療推進協議会とともに「県民のいのちを守る」をテーマに、県民に安全で良質な医療を提供していくために行動していくこととしている。



医療に従事するすべての職種の人たち、患者・県民の方々が、一丸となって安全な医療を実現していくことを確認した